

施策の方向性(A)「文化創造の基盤づくり」:府民一人ひとりの自主性や創造性を尊重しつつ、人材の育成や府民意識の醸成等に取り組む

A-①:芸術文化を創造し、支える人材の育成・支援の充実

【芸術文化振興補助金】

■府民に優れた芸術文化の鑑賞機会等を提供する芸術文化活動に補助(上限100万円)

※大阪府文化振興基金を活用

■大阪アーツカウンシルにおいて審査し、採択事業を決定

➢令和元年度実績:応募35件、採択16件 大規模なジャズイベント



【府庁本館活用事業】

■歴史的・文化的価値の高い府本庁舎を芸術文化活動の発表の場として提供

■府民の活動の場を広げることにより、民間の文化芸術団体が実施する自主的な事業を促進

➢令和元年度実績:4回(コンサート、オペラ、ミュージカル等)鑑賞者延べ235名



【芸術文化魅力育成プロジェクト】

■若手プロデューサーにチャレンジの場を与え、芸術文化の担い手を育成するとともに、大阪にある優れた芸術文化の魅力を発信

■大阪アーツカウンシルから提言を受けて事業化した府市共同事業(H27~29年度)

➢平成29年度実績:応募5件、採択1件
・ライブパフォーマンスなど5プログラム
・トークセッションなど5プログラム
・参画した若手プロデューサー6名
・メディア掲載件数62件
・鑑賞者延べ2,623名



文化住宅解体工事の音に合わせた音楽ライブ

【障がい者芸術・文化促進事業】

■障がい者の社会参加を促進し、府民の障がい者への理解を深めるため、国際障がい者交流センター(ビッグ・アイ)を活用して芸術・文化活動の機会を提供

➢令和元年度実績:
・「大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ2019」
・「大阪府障がい者芸術・文化コンテスト2019」



A-②:将来の社会の担い手となる青少年の育成

【輝け!子どもパフォーマー事業補助金】

■府内の子どもが参加し、文化活動を発表・体験する機会を提供することにより、文化を通じた次世代育成に資する事業に補助(上限30万円)

※大阪府文化振興基金を活用

■大阪アーツカウンシルにおいて審査し、採択事業を決定

➢令和元年度実績:応募30件、採択18件



伝統芸能を主題とした演劇公演

【音楽指導事業】

■府民の音楽活動の促進等を図るため、青少年を対象に吹奏楽などの合奏指導や音楽相談、管打楽器の演奏技術講習会を実施

■府内の中学校において、年2回(秋・冬)開催
➢令和元年度実績:応募255名、参加235名



【音楽体験事業】

■日本センチュリー交響楽団が中心となり、子どもが楽器に触れるとともに、オーケストラの中で演奏を聴き、指導をするなど、オーケストラのあらゆる面を体験できるコンサート等を実施

➢令和元年度実績:定期演奏会10回
楽団の活動の1つ柱である社会貢献事業
・タッチ・ジ・オーケストラ 8回
・特別支援学校コンサート 1回
・支援学校アンサンブル 5回
・夏休みファミリーコンサート 1回
・病院コンサート 3回



タッチ・ジ・オーケストラ



夏休みファミリーコンサート

【出かける博物館事業】

■考古資料などを通して歴史への関心と学習意欲を高めるための支援プログラム

■小・中・高校へ出前授業、館外における講演会やワークショップを実施

➢令和元年度実績(11月末時点):
出前授業82回、講演会等70回



A-③:芸術文化拠点の充実と府民意識の醸成等

【次世代育成型メセナ自販機等の設置】

■寄附型の自動販売機を大阪府庁舎内や府内の企業、鉄道駅などに設置

■売上金の一定の割合が文化振興基金へ寄附され「輝け!子どもパフォーマー事業補助金」等の財源として活用

➢令和元年度実績:府庁舎内8台
府内の企業等41台



【OSAKAメセナカードの発行】

■広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、文化振興基金への寄附機能の付いたクレジットカードを発行

■寄附率は利用金額の0.3%
➢令和元年度実績:有効口座172口



カード利用者への割引提携施設等16か所

- ・日本センチュリー交響楽団
- ・大阪フィルハーモニー交響楽団
- ・大阪交響楽団
- ・国立文楽劇場 等

【文化財の保存・継承と親しむ機会の充実】

■府指定文化財の保存、修復、管理等に必要な措置へ補助金を交付

■文化財の定期公開や発掘調査現場公開、学校連携の促進等、多様な公開・活用手法の実践により、府民が文化財に親しむ機会を充実させる取組みも実施

➢令和元年度実績:
府指定文化財の保存等補助事業15件
国指定文化財管理費の補助事業59件
発掘調査現地説明会2回
和泉池上収蔵庫公開4回



施策の方向性(B)「都市のための文化」:2020東京オリンピック・パラリンピックを契機として、大阪の文化の魅力発信や府内全域における文化事業の推進等に取り組む

B-①:大阪が誇る上方伝統芸能を活用した魅力発信

【大阪文化芸術フェス】

- 文化を核として大阪の都市魅力を創造し、発信していく事業
- 大阪が誇る上方伝統芸能や上方演芸をはじめ、優れた音楽、演劇、アート等多彩で豊かな文化の魅力を広く国内外に発信し、インバウンドも含めた多くの観光客を呼び込むことにより、国際エンターテインメント都市の実現をめざす

➢令和元年度実績:9月16日～11月17日

- ・大阪市、大阪商工会議所、大阪観光局及び関西観光本部と実行委員会を構成
- ・万博記念公園をはじめ府内会場(15ヶ所)で事業を実施
- ・インバウンドにも楽しんでいただけるノンバーバルなプログラムも実施
- ・プログラム数 主催、共催24件84公演、参加29件



一流のアーティストによる日本を題材にしたナイトエンターテインメントショー



大阪を代表する「祭り」を中心に、全国の「祭り」を集めたプログラム



高津神社での「能勢人形浄瑠璃」と「落語」の公演



コシノジュンコさんのコレクションと落語を融合させたショー

【芸術文化顕彰事業

(大阪文化賞・大阪文化祭賞・山片蟠桃賞)】

- 大阪の文化・芸術に多大な貢献のあった方の顕彰等により、大阪の文化振興の機運醸成や都市魅力のアピールを行う

※大阪府文化振興基金を活用

➢令和元年度実績:

- ・大阪文化賞 豊島将之氏(将棋棋士) 2月12日 贈呈式
- ・大阪文化祭賞 2月～3月贈呈式予定
- ・山片蟠桃賞 第26回受賞者 ハルオ・シラネ氏 6月17日 贈呈式、記念講演会

【大阪文化再発見事業】

- 市町村、大学及び研究機関と連携した府民向け講座

➢令和元年度実績:

- ・おおさかふみんネット(生涯学習推進事業)府内を8ブロックに分けて14講座を実施
- ・阪神奈公開講座フェスタ(22の大学・研究機関と連携した生涯学習講座)18講座、参加者771人

【府立上方演芸資料館(ワッハ上方)の運営】

- 大阪固有の文化である上方演芸を後世に伝えていくため、資料の収集・整理・保存を行うとともに、資料の館内・館外展示や上方演芸の殿堂入り等を通じて、上方演芸に親しむ場等を提供

- 収蔵資料を活用した展示やワークショップの開催を通じて、上方演芸の歴史や魅力を広く発信。4か国語に対応した展示のほか、外国語対応可能なナビゲーター(演芸人)を常時配置

➢令和元年度実績(1月末):

- ・展示事業(常設展示1回、企画展示2回、館外展示1回)
- ・ワークショップ35回、事業者連携イベント6回
- ・来館者数31,842人



演芸人が生み出すアートを切り口に上方演芸の歴史を紹介する展示



落語の所作が学べるワークショップ



曲芸が学べるワークショップ



曲芸が学べるワークショップ

B-②:大阪のブランド力を活用した都市魅力の向上と新たな文化の創造

【大阪・光の饗宴の魅力向上】

- 「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のルネサンス」をコアプログラムとして、民間等の実施する光のプログラムと連携して、インパクトある様々な光空間を演出

➢令和元年度実績:大阪・光の饗宴2019の実施

【大阪産(もん)魚介類の魅力発信】

- 「魚庭(なにわ)の海づくり大会」などイベントを活用し、大阪漁業を発信するとともに「はま」と「まち」のふれあいの場を創出

➢令和元年度実績:

- ・学校給食会と連携した出前魚講習会8回 等



B-③:大阪府内全体を活用した文化事業の推進

【大阪ミュージアムの推進】

- 「恒常的なまちの魅力向上支援事業」により、地域団体の取組を支援
- 大阪ミュージアム登録物を活用して、地域魅力を府内外に発信



ウォークコース設置事業

【百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進事業】

- 世界遺産を次世代に引き継いでいくため、世界遺産としての価値や魅力の発信、資産の保存管理に取り組む(第43回世界遺産委員会において世界遺産に登録)

施策の方向性(C)「社会のための文化」:人や地域の課題の改善や解決に向けて、芸術文化の担い手、NPO等の団体、企業、大学等と連携を図りつつ、システム整備やネットワークの構築等に取り組む

C-①:教育、福祉、まちづくり等のあらゆる施策分野への活用 ・ C-②:文化関係機関等との連携強化

【府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)管理運営事業】

- 文化芸術の振興を図り、大阪の都市の魅力の向上に資するため、絵画等の収蔵作品の管理活用、交流・活動場所の提供、アートやデザインを活用した社会課題の発見、解決等創造的な活動機会の創出を支援するための協働の拠点づくり等を実施

➢令和元年度実績(12月末):来館者数100,042人

- ・「大阪府20世紀美術コレクション(約7,900点)」を活用した展覧会のほか、アーティストやクリエイターの創造活動・交流の拠点として事業を実施
- ・美術コレクション延べ活用点数684点、企画展1回、コレクションキャラバン(府内学校への出張展示)5校、外部展示・貸出等
- ・クリエイターを育成する教育講座2学科3コース
- ・えのこdeマルシェ2回 ・おおさかアート commons(仮称)ギャザリング3回
- ・enocoおしゃべりパーラー(対話型鑑賞会)3回 ※「地域創造大賞(総務大臣賞)」受賞(1月)



【プラットフォーム形成支援事業】

- アーティストやデザイナー、府民、NPO、大学、企業等の多様な立場の組織や人が集まってプラットフォームを形成し、対等な立場で交流・対話を行い、アートやデザイン(コミュニティデザインを含む)を手法として、共に課題の検討や事業を推進するための支援を行う

➢令和元年度実績:

- ・手引き集に関し、市町村等への普及・啓発を実施



C-③:スポーツとの連携による地域活性化

【大阪マラソン開催事業】

- 3万2千人のランナーが大阪のランドマークを駆け抜ける「大阪マラソン」を実施。今大会からコースを変更し、大阪城公園をフィニッシュ地点とした



出場者:32,989人(国外4,999人)／沿道観衆:1,330,000人

【府民スポーツ・レクリエーション事業】

- スポーツへの参加意欲を喚起し、誰もが生涯を通じて健康でゆとりや潤いを実感できる豊かな生涯スポーツ社会の実現をめざして、毎年、広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実践する場を提供

スポーツ体験会参加者:約650名 等